

令和2年度NPO活動推進補助金 活動報告書

| | |
|---------|---|
| 事業名 | 子ども食堂事業 |
| 団体名 | NPO法人さわら子どもひろば |
| 法人設立年月 | 平成31年 4月 8日 |
| 団体の目的 | 子ども達及び地域の方々に対して、食事や学習支援、居場所を提供する事業を行い、子ども達の豊かで充実した生活と社会づくりに寄与すること |
| 主な活動 | 食の提供による生活支援事業、学習サポート事業、居場所作り事業、その他目的を達成するために必要な事業 |
| 補助事業の概要 | <p>(事業を実施した背景、事業内容、成果、次年度以降の展望)</p> <p>◆事業の背景、実施内容</p> <p>毎月第2第4日曜日の月に2回、新型コロナウイルス感染拡大により経済的に困窮する子ども世帯や、精神的にも孤立しがちな親子を対象の中心とし、フードバンク等から頂いた食材と購入したパン・米などを配布した。食材配布だけでなく、子どもたちに楽しんでもらえればと「あおぞら絵本の会」や「サイコロゲーム」、また洋服のリサイクルコーナーなど感染予防をしながら行うことで参加者が増えていった。小学校へのチラシ配布やフェイスブックや口コミで情報が伝わり、10月～3月で1,980人(うちスタッフ175人)の参加があった。配布場所はすべて風ひかり作業所をお借りして行った。</p> <p>◆事業の成果</p> <p>回数を重ねるごとに顔見知りとなり、相談事を受けるようになった。毎回、対面でアンケートを行っており、必ず一言二言は話して帰ってもらうようにしているので、話しやすくなっているのだと感じている。</p> <p>長期休みに入るのでお米がない、夫が雇止めとなり先行き不安、赤ちゃんが産まれたのでベビーカーやチャイルドシートがないだろうかなど、福祉に至らないけれど喫緊に困っているかたの相談を受け対応できた。</p> <p>コロナ禍で家族以外のひとと話すことがなくなり、子ども食堂にきて話すどほっとしたなどの声も聞かれた。経済的だけでなく精神的な支えとなっていることも実感している。</p> <p>◆今後の活動展開</p> <p>新型コロナ感染拡大の終息がみえないので、食材の配布事業を継続する。子どもたちが楽しみにしている「あおぞら絵本の会」と「サイコロゲーム」は続けていく。また、感染状況が落ち着いたら、以前のように食事や遊びの場を持ちたいと考えている。4月に5周年記念企画として、小さなサーカス団「ピエロクッキー座」お呼びし、子ども達に野外で観劇体験を行う。</p> |

補足(1) 上記項目を満たしていれば、本様式以外を使用しても構いません。別紙記載例を参照してください。パワーポイント等で作成される場合は、10ページ以内とします。

(2) 活動写真を2、3枚程度添付してください。

(3) この報告書は、市ホームページに掲載するとともに、寄付者に送付している活動報告書を作成する際に活用させていただきます。